

令和4年度事業報告

概 要

令和4年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にありましたが、厳しい状況は徐々に緩和されてきて、このところ持ち直しの動きがみられます。一方、円安や物価高騰など経済情勢は、依然と厳しい状況におかれています。

このような状況下、ワクチン接種が浸透するなど、新型コロナウイルス対策が講じられてきたことなどから若干ではありますが、昨年度の事業実績を上回り、回復基調となっています。

令和4年度の事業実績は、回復傾向になっていた令和3年度と比較すると、就業延べ人員が498人増の78,729人日、就業率は1.3ポイント増の91.3%となっています。事業別では、公共事業と独自事業においては若干減少しているものの、その他の事業については、件数、収入とも増加しており、事業費ベースで昨年度の101.7%となっています。

派遣事業においては、コロナ感染の影響や厳しい経済情勢のため、前年度より約956千円減の約13,186千円となりました。しかし目標としていた12,000千円に対しては、約9.9%増となっています。

請負事業全体では、前年度実績を上回ったものの、実施計画目標の3億7,985千円を達成できませんでした。今後も新型コロナウイルス対策による感染状況を見極めながら請負事業や派遣事業の拡大に取り組んでいきます。

また、最重点課題としていた会員拡大については、ホームページやSNSでの情報発信、ハローワークとの連携、全戸配布のフリーペーパー広告での募集、会員の声掛け運動等に取り組みましたが、前年度より13人減、目標の600人に対し88%の529人となり、残念ながら目標に達しませんでした。今後も、会員拡大に取り組むとともに、就業拡充の強化を図っていきます。

賠償事故は、刈払い機での石飛事故の4件で前年比2件増となり、傷害事故は、6件で前年度より3件減ですが、バイク、自転車での転倒事故が4件で大事故につながる恐れがあり十分注意する必要があります。事故ゼロを達成するために、さらなる安全対策に向けた取組を強化しなければなりません。

事業実績

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供等事業

1 事業実績（受託＋独自＋総合事業）

	令和4年度実績	前年度比	計 画
			達成率
会 員 数	529人	13人減	600人
			88%
就業実人員	483人	5人減	536人
			90%
就業延人員	78,729人日	498人増	77,900人日
			101%
就 業 率	91.3%	1.3ポイント増	90%
			101%
事業収入	294,709千円	4,948千円増	307,985千円
			96%

(1) 受託事業（一般）

高齢者の就業機会を確保し、高齢者の希望や能力に応じて、グループ就業やローテーション就業などを行い、高齢者に臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会の提供を行いました。

令和4年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	500人	75,000人日	300,000千円
実 績	451人	75,725人日	287,548千円

(主な就業分野)

- 事務（文書作成、受付事務、賞状・宛名書き等の筆耕等）
- 技能（剪定、大工、襖・障子・網戸張替え、刃物砥ぎ等）
- 管理（小・中学校、地区公民館、駐輪場、イベント会場での駐車場整理等）
- 配布（市広報誌、チラシ・フリーペーパー配布等）
- 屋外・屋内作業（屋外・屋内清掃、除草、植木消毒、家財搬出、農作業等）
- 福祉・家事援助サービス（家事手伝い、育児支援等）

(2) 独自事業

地域のニーズに対応するために、独自の創意と工夫により次の事業を実施しました。

○ リサイクル事業

市民から提供された衣類、家具、家電製品等の再生・販売、また、学校給食や一般家庭の廃油を原料とした石けんの製造・販売を行いました。

この事業により、ごみの減量化と資源の有効活用など市民の3R活動を推進しました。

○ 宮原坑ショップ事業

世界遺産宮原坑で、来場者へ地元特産品及び会員手作り品等を販売しました。

○ 生きいきシルバー農園事業

耕作放棄地対策として、休耕地を活用した農産物の生産及び有料市民農園事業を行い、農産物は農園直売所、センターのショップ等で販売しました。

令和4年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	30人	2,500人日	7,000千円
実 績	29人	2,661人日	6,404千円

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業

令和2年度より、市の介護予防・日常生活支援総合事業の指定事業所として、掃除、買い物等の生活支援サポートを行う基準緩和型訪問サービスを始めました。

令和4年度	就業実人員	就業延人員	契約金額
計 画	6人	400人日	985千円
実 績	3人	343人日	756千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

地域の高齢者に、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲における就業を紹介するとともに、地域事業者の求人等の情報収集及び提供を行いました。

2 労働者派遣事業

地域における人手不足と高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において、労働者派遣事業を実施しました。

令和4年度	就業延人員	契約金額
計 画	4,000人日	12,000千円
実 績	3,874人日	13,186千円

(主な就業分野)

高齢者施設等の配膳業務、送迎業務、食品包装業務、商品整理等

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 月2回の入会説明会を開催し、高齢者の生きがい就労や社会参加活動を紹介するとともに、全戸配布の無料情報誌に、センター事業の紹介や会員募集の広告を掲載しました。また、ハローワークの就職支援セミナーでセンターの紹介を行いました。
- ② 毎月10日の十日市やおおむた道の駅「花ぷらす館」への会員手作り品の出品、年間を通し出張販売する「よかもん商店街」等への参加等で、市民へのセンター事業の

普及啓発を行いました。

- ③ 10月の普及啓発促進月間に、市及び市議会への支援要請行動を行うとともに、地元新聞社へセンター事業の情報提供やホームページにリアルタイムの求人情報等を掲載し、情報発信を行いました。
- ④ 女性会員の拡大を図るため、県シ連による女性会員拡大に関する会議に当シルバーから委員として参加をしました。大牟田市エコサックセンター環境教室での年9回の布ぞうり教室、年2回のちりめんリース作りを実施しました。

(2) 社会参加・ボランティア活動

- ① 夏祭り清掃奉仕活動 7月25日(月) 会員及び職員 35人参加
- ② 市役所剪定奉仕活動 10月8日(土) 会員及び職員 52人参加
- ③ 高齢者生きがい創造センター剪定・除草奉仕活動
10月15日(土) 会員及び職員 95人参加

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を基本とし、連合会安全就業促進大会への参加、安全・適正就業委員会の開催、安全パトロールの実施等を行いました。

今年度は、安全パトロールを計15回(剪定作業現場19ヶ所、除草作業現場18ヶ所)実施をしました。また、職群別定例会では事故事例についての周知分析を行うとともに、夏場の熱中症予防などの注意喚起を行いました。

今年度の事故発生状況は、傷害事故が6件、賠償事故が4件発生しました。傷害事故では、転倒による事故が4件のほか、転落や蜂刺されの事故が発生しました。賠償事故は、件数は昨年度より2件増加し、全て刈払機による石飛事故等となっています。

事故の原因を分析し、再発防止を図ることが必要です。事故の内容は以下のとおりです。

【傷害事故】 6件 (前年比-3件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
4/15 15:00	男	71	就業中 (転倒) 12日通院	広報 配布	広報配布中、バイクでUターンしようとした際、バランスを崩して転倒し、右足がバイクの下敷きとなった。
					(事故原因) バイクに乗ったまま急な方向転換(Uターン)をしようとしたためバランスを崩した。

					<p>(再発防止策)</p> <p>自転車・バイクの転倒事故は重大に繋がるおそれがあることを認識し、運転の際は十分に注意する。また、広報誌等の重量物を積んで走行する場合は、運転に支障がない範囲で積込む。</p>
7/10 11:00	男	68	<p>就業中</p> <p>(蜂刺され)</p> <p>1日通院</p>	除草	<p>刈払機を使用した除草作業中、蜂の巣に気づかず接近し、蜂に指を刺された。</p> <p>(事故原因)</p> <p>現場の安全確認が不十分だった。</p> <p>(再発防止策)</p> <p>空家・空地には蜂の巣があることが多いため、作業前に蜂の巣がないか確認する。蜂を発見した際はすぐに対応できるよう、蜂スプレーを現場に持参する。万が一、刺されたときのために、ポイズンリムーバーや塗り薬等を常備する。</p>
8/23 12:00	男	72	<p>就業中</p> <p>(転落)</p> <p>3日入院</p> <p>7日通院</p>	清美 班	<p>トラックの荷台に乗り、草ゴミを踏み込んでいたところ、足を滑らせ、荷台から地面へ転落した。</p> <p>(事故原因)</p> <p>草ゴミを踏み込んだ際にカズラで足を滑らせた。</p> <p>(再発防止策)</p> <p>荷台からの転落は一步間違えれば命の危険があることを十分理解し、荷台で作業をする際は、車体に手をつくなどして体を安定させる。また、同種事故を防ぐため、荷台に草ゴミを詰め込みすぎないようにする。</p>
10/21 12:00	男	79	<p>就業途上</p> <p>(転倒)</p> <p>11日入院</p> <p>5日通院</p>	除草	<p>自転車で帰宅している際、坂道で転倒し、頭や胸を強打した。</p> <p>(事故原因)</p> <p>自転車で傾斜のある上り坂を漕いだまま登ろうとしたため、ふらついて転倒した。</p>

					(再発防止策) 自転車・バイクを運転する際、坂道や路面状態が悪い道を通行する場合には、無理をせずに自転車から降り、手で押して通行する。
12/27 17:45	女	75	就業途上 (転倒) 67日入院 通院中	屋内 清掃	就業を終え、バイクで帰宅している途中、後方からの車両を避けようと車道左側に寄った際、道路の縁石にタイヤが当たり、転倒した。 (事故原因) 道路の状況(縁石との距離感など)の確認が不十分だった。 (再発防止策) 自転車・バイクを運転する際は、道路の状況をよく見て、安全を確認しながら通行する。
3/17 11:45	女	76	就業途上 (転倒) 通院中	屋内 清掃	バイクで就業先から帰宅途中、交差点で右折しようとした際、直進してきた車両と接触して転倒した。腰を強打し骨折したため、コルセット着用で自宅療養となった (事故原因) 交差点で一時停止したが、その後の安全確認が不十分だった。 (再発防止策) バイクや自転車の運転の際は、よく周囲を確認して通行する。特に交差点では安全運転を行う。

【賠償事故】 4件 (前年比+2件)

日時	性別	年齢	事故	職種	発生状況・原因・対策
4/25 9:00	男	74	就業中 車両 窓ガラス 破損	除草	刈払機を使用した除草作業中、隣の敷地に駐車してあった車の窓ガラスに石を飛ばし、破損させた。 (事故原因) 事前に車の持ち主に車を移動してもらおう話をしていたが、移動してもらう前に石を飛ばしてしまった。

					(再発防止策) 石が予想以上に飛ぶことを認識し、距離があってもあらかじめ車を移動してもらい、もしくは防護ネットを使用し、確実に石飛を防ぐ。
6/17 9:00	男	77	就業中 車両 リアガラス 破損	除草	刈払機を使用した除草作業。作業現場は石が多く、周りに駐車場があったため、刈払機使用会員の横に防護ネットを手持ちする会員を付け、石飛対策を実施していたが、防護ネットで守れていない角度で石が飛び、車両リアガラスを破損させた。
					(事故原因) 手持ち防護ネットの会員と、刈払機を使用する会員の移動ペースが合わず、刈払機会員が先行してしまい、防護ネットでは守れていない角度があった。
					(再発防止策) 防護ネットを手持ちする会員は、刈払機会員が使用している刃を中心にネットを構えることを徹底する。
6/26 11:00	男	74	就業中 車両 リアガラス 破損	除草	刈払機を使用した除草作業。作業現場は石が多く、隣の敷地に駐車車両があったため、敷地を隔てる金網フェンス全面に防護ネットをかけて石飛対策を行っていたが、気が付くと車両のリアガラスが割れていた。
					(事故原因) フェンスにかけた防護ネットの高さは足りているように思えたが、飛び越えてしまった可能性がある。もしくは、ネットがたるんでいた部分から石が抜けたものと推測する。
					(再発防止策) 年数回作業している現場で、これまで事故なく作業していた現場だったため、今回も同様の作業を実施したが事故が起きてしまった。今まで無事故だったから今回も大丈夫という考えは危険であることを認識する。また、防護ネットのたるみなどにも注意する。

10/14 16:00	男	74	就業中 車両 リアガラス 破損	除草	刈払機を使用して空地の除草をしていた際、石を飛ばし、近隣に駐車されていた車両のリアガラスを破損させた。
					(事故原因) 近くにアパートの駐車場があったため、その方向には防護ネットを使用していたが、今回事故が発生した方向にはネットを張っていなかった。
					(再発防止策) 作業前のKYミーティングで危険箇所を全員で確認し、情報共有した上で、全ての危険箇所に対して対策を行う。防護ネットが足りない場合は、作業箇所の移動に合わせて設置し直す。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

就業を希望する地域の高齢者に、毎月2回の入会説明会及び毎月1回の会員登録説明会を行うとともに随時の就業相談に対応しました。

4 研修・講習事業

① 安心・安全講習

新型コロナウイルス感染拡大予防のために、職群定例会において感染症対策の周知を行うとともに、感染症対策ポスター掲示を行いました。

② 接遇講習

利用者の信頼と満足を得るために、会員へのクレームに対する注意及び接遇の指導を行いました。

③ 剪定講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等についての座学研修を実施しました。(開催1回、研修会員1人)

④ 除草講習

新入会員を対象に、服装、道具、安全対策等について、座学及び実技講習を実施しました。(開催4回、研修会員4人)

⑤ 子育て・福祉・家事援助講習会

県シ連主催の子育て・福祉・家事援助サービス担当者研修会は、12月14日(水)開催され、職員2名が参加しました。

⑥ 職員研修会

○県シ連請負委任契約見直し説明会が12月1日(木)と5日(月)にオンラインで開催され、全職員が視聴しました。

○筑後ブロック業務担当職員研修会が、2月14日（火）に大川市シルバー人材センターで開催され、職員2人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

○九シ協中堅職員研修会が2月27日（月）に熊本市で開催され職員2名が参加しました。

○筑後ブロック会計担当職員研修会が、3月6日（月）にうきは市シルバー人材センターで開催され、職員2人が参加し、他センターとの意見交換を行いました。

⑦ 役員研修会

○県シ連定時総会・役職員研修会に2名参加しました。

○県シ連理事長研修が11月2日（水）に開催され理事長が参加しました。

○県シ連監事研修会が12月6日に開催され監事1名が参加しました。

5 調査研究事業

公益社団法人として会員増対策と経営の安定化を進めるために、福岡県シルバー人材センター連合会からの情報収集及び筑後ブロックでの情報交換を行いました。